

東広島市立東西条小学校

令和7年度

第13回読書紹介文コンクール

入選作品集



校長 下田 健一郎

平成二十五年度に始まつた「読書紹介文コンクール」も、今年度で十三回目の開催となりました。

一人一人が自分の読書を振り返り、感動した本を一冊選び、その感動を「こんな人に伝えたい」という思いをもつて紹介文を書きました。自分の感動や思いを「どう表現すれば相手に伝わるか」国語科等で学んだことを生かしながら一生懸命文章に表しました。

今年度も東広島市教育委員会、（株）プレスネット様 アスクライブラリー様のご協力を得て、最終審査を行いました。

どの紹介文も、本を読んで感動したことをもとに、自己を振り返つたり、未来の自分や社会を思い描いたりした作品で、考えたことがしつかり伝わつてくるものでした。厳正なる審査の結果、各学年から特選一作品、準特選二作品、計三作品が選ばれました。

選ばれた作品は、これまで、「リーフレット」として作成・配付をしてきましたが、今回から、「デジタル版」として、そのリンク先を本校ホームページに掲載し、広く作品を紹介していくこととしました。これまで行つてきた、（株）プレスネット様発行の新聞や、FM東広島様や、校内での放送による紹介も、継続して行われます。

本校の「読書紹介文コンクール」の取組を、より多くの方に知つていただくとともに、子どもたちの読書の輪が、益々広がつていいくことを期待しています。

第13回東西条小学校読書紹介文コンクール 3賞入賞作品

【第2学年の部】

賞

特選 教育長賞

準特選 プレスネット賞

準特選 アスクライブラリー賞

児童名

小出 花穂

河野 結月

折手 勇仁

紹介図書名

ゆうびんやさんおねがいね

赤い本

虫はごちそう

【第3学年の部】

特選 教育長賞

準特選 プレスネット賞

準特選 アスクライブラリー賞

道中 ひまり

大江 晴香

藤岡 未南

はだしのゲン

オペラ座の怪人

ヘンゼルとグレーテル

【第4学年の部】

特選 教育長賞

準特選 プレスネット賞

準特選 アスクライブラリー賞

金子 杏菜

林 咲子

森田 悠心

若草物語

カメちゃんおいで、手の鳴るほうへ
波乱に満ちておもしろい北里柴三郎

【第5学年の部】

特選 教育長賞

準特選 プレスネット賞

準特選 アスクライブラリー賞

西本 麻央

吉盛 晴

宇佐 海結

津田梅子

成瀬は天下を取りにいく
ええところ

【第6学年の部】

特選 教育長賞

準特選 プレスネット賞

準特選 アスクライブラリー賞

藪木 翔大

木之下 咲優

山田 悠生

約束「無言館」への坂をのぼって

昔話法廷

ピアノ調律師

【第一学年】

特選 市教育委員会 教育長賞

今、かなしい気持ちの人におすすめします

「ゆうびんやさんおねがいね」



作／サン德拉・ホーニング
絵／バレリー・ゴルバチヨフ

出版社／徳間書店

二年 小出 花穂

わたしがしようかいする本は、「ゆうびんやさんおねがいね」という本です。

この本は、こぶたくんがとおい町にすんでいるおばあちゃんのたんじょう日に、お手紙とすてきなプレゼントをとどけるお話です。

すてきなプレゼントとは、こぶたくんが大きく手を広げて、ぎゅっとすることです。こぶたくんは、まず、ゆうびんきょくの犬さんをぎゅっとします。すてきなプレゼントは、ゆうびんきょくの犬さんから、手紙をしいれるやぎさん、ゆうびんトラックをうんてんするうさぎくん・・・つぎつぎに、すてきなプレゼントがはこばれて、せいろは、とおい町のおばあちゃんにとどきます。

わたしは、こぶたくんが大きく手を広げてぎゅっとするプレゼントがとおい町のおばあちゃんにとどいて、心があたたかくなりました。

今、心がかなしいきもちの人は、この本をよんでもらください。きっと、心がポカポカあたたかくなりますよ。

【第二学年】

準特選 プレスネット賞

終わらない怪談を聞きたい人におすすめします

「赤い本」

作／緑川聖司
絵／竹岡美穂

出版社／ポプラ社



二年 河野結月

みなさんには終わらない怪談を聞きたい時はありませんか。わたしがしようかいする本は「赤い本」という本です。この本はいろいろな話がありますがその中の一つのお話をしようかいします。みなさんは「むらさきかがみ」という言ばを知っていますか。

これはゆう名な言ばで二十さいになるまでにこの言ばをわすれなければ死んでしまったり、ふこくなつたりすると言われているのです。「むらさき」も「かがみ」もごくふつうの言ばなのに、この二つがくつつくと、どうしてのろいの言ばになつてしまうのか。

ぜひ、ふこうになつてしまふ理ゆうを知りたい人は「赤い本」を読んでみてください。

わたしはこのお話を読んでみて、せかいにはいろいろな「のろいの言ば」があることが分かりました。

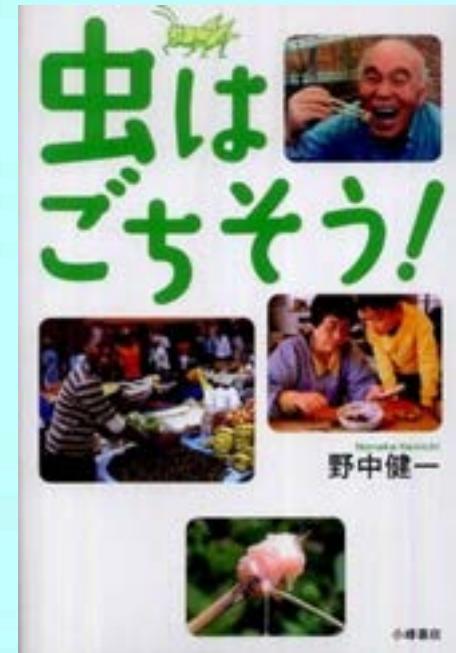
このほかにもたくさんこわい話があるので、気になる方はぜひかりてみてください。

【第一学年】

準特選 アスクライブライアリー賞
虫が好きな人におすすめします

「虫はごちそう」

作／野中 健一



出版社／小峰書店

一年 折手 勇仁

ぼくは「虫はごちそう」という本をしようかいします。

みなさんには虫を食べたことはありますか。この本はいろいろな国の人人が虫をつかまえて食べる話です。主人公が日本でこん虫食をしらべているときに、大ぜいの人に聞いて回っているところからはじまります。

「そんなの食べたことないよ」と言う人たちもいたけれど、「たくさん食べたよ」という人も多くいました。

この本を読んで、ぼくは「むかしは大ぜいの人がイナゴを食べていたんだな」ととてもおどろきました。おきなわでは、「イナゴは害虫です」と言いながら、つかまえて食べていたそうです。みなさんはイナゴを食べてみたいですか。ぼくもこの本を読んでイナゴを食べてみたくなりました。

このほかにも、たくさん虫を食べる話があるのでぜひ読んでみてください。

【第二学年】

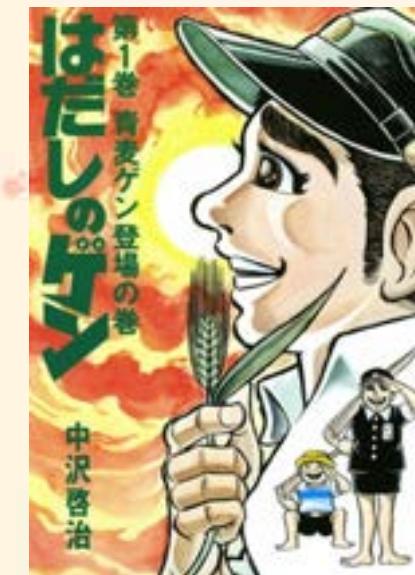
特選 市教育委員会 教育長賞

なかなか悲しみをがまんできない人におすすめします

「はだしのゲン」

作／中沢啓治

出版社／汐文社



三年 道中ひまり

みなさんは、なかなか悲しみをがまんできない時
はありますか？この本は、原ばくが落ちた時のこと
や、せんそうがつづいている時の日じょう生活を、絵
や言葉で表しています。

広島でひばくしたこの本の主人公「元」は、原ば
くが落ちた日に父、姉、弟をなくし、とても悲しみま
すが、お父さんが言つてくれた言葉「ふまれても強く
まつすぐのびる麦になれ」という言葉を思い出しながら
、いろんなことをのりこえていきます。

わたしがすごいなと思った所は、始めはあまえん
ぼうだつた元が、悲しみをこらえてどんどんたくまし
くなつていいくところです。わたしだつたらすぐ泣い
てしまうのに、がまんできすぎいなと思いました。
そして、この本は、登場人物の気持ちになりやすい本
でもあります。元が悲しんでいたらわたしもむねがは
りさけそうになり、元がうれしそうなときは、おもわ
ず鼻歌交じりになりました。

みなさん、今もまだせんそうはつづいていますね。

わたしは、せんそうの苦しみを地いきの人、日本
のみなさん、世界のみなさんに知つてもらつて、今生
きているよろこびをかんじてほしいと思い、この本を
しようかいしました。世界じゅうの一人、一人が気を
つければ、せんそうはきつとなくなるはです。

【第三学年】

準特選 プレスネット賞
自分のかんじようだけできぬつけてしまう人におすすめします

「オペラ座の怪人」 作／ガストン・ルルー

出版社／KADOKAWA



三年 大江 晴香

わたしは、「オペラ座の怪人」という本をしようかいします。

みなさんは、恋をしたことがありますか？この本では、見習い歌手のクリステイーヌという女の子が、オペラ座にいる怪人にうつくしく歌を歌うための、アドバイスをされます。その怪人は、自分のことをゆうれいだといい、きみような事けんをおこします。やがてクリステイーヌが人気歌手へとのぼりつめたとき怪人との間にふしぎなきずながうまれます。そして・・・・・せつない恋の物語！

わたしが感動したところは、クリステイーヌが、みんなに人気のイケメンをえらばず、みんなにきらわれているゆうれいと恋におちたことです。それにクリステイーヌの目の前で事けんをおこしたゆうれいですが、クリステイーヌが理由を知ると、恋におちるというところです。

わたしは、この本を読んでから、理由をまず先に聞こうと思うようになりました。もんくを言うのは、理由を聞いてからでもおそくないからです。

【第二学年】

準特選 アスクライブライ賞
ゆうきが出ない人におすすめします

「ヘンゼルとグレーテル」

作／いもとようこ

出版社／金の星社



みなさんは、ゆうきが出ないとありますか。わたしは、「ヘンゼルとグレーテル」という本をしようかいします。

この本は、ヘンゼルというお兄ちゃんとグレーテルという妹が森をさまよつたり、とつぜん森にあらわれたおかしの家にすんでいるやさしいおばあさんが、本当はこわいま女でヘンゼルとグレーテルを食べようとしていたりとドキドキするお話です。

わたしがこの本を読んだきっかけは、ならいじとのがつしょうだんとそのげきをやつて、とても気に入つたからです。きつとこの本を読めば、「ゆうきが出ない」「がんばれない」というときに元気が出ると思いました。

じつさいにわたしも、読み始めたら心がしづんだようなことがあつても、ゆうきが出せるようになりました。とくに気に入ったのは、本当のお母さんではない人に森のおくにつれていかれ、とつぜんあらわれたおかしの家に気をとられその家の中でもじょに食べられそうになつたのに、あきらめずにまた、自分の家に帰ることができたところです。そこばかりあとから何度もくり返して読んだほどです。この本を読んだ後は、自分にゆうきをもつてあしたがんばろうと思えるようになりました。そして、前よりももつとヘンゼルとグレーテルがすきになつていました。

これからも自分がふ安になつたとき、この本を読んで、ゆうきを出したいです。また、わたしみたいにゆうきが出ない、ふ安になるということがあれば、ヘンゼルとグレーテルを読んでみてください。すると・・・ヘンゼルとグレーテルみたいにゆうきをもつた心の強い人になれるかもしれませんね。

【第四学年】

特選 市教育委員会教育長賞
兄弟のいる人におすすめします。

「若草物語」

作／L・Mタル／ツト

絵／NARDACK

出版社／KADOKAWA



四年 金子 杏菜

私には、よくけんかをする妹がいます。お母さんは、「仲良くしなさい。」というけれど上手くいきません。そんなときに出会つた本が「若草物語」です。

四姉妹は、お父さんがいなくて助け合つてくらしさみしいクリスマスをむかえることになりました。しかし、もっとお金のない家族に自分たちの朝ご飯を分けたことで、すてきな少年に出会います。父のいない一年をえがいた、愛と成長の物語です。

私が一番心に残つたところは、お父さんが行つている戦地の病院から「お父さんが危とく」ということを知り、お母さんが戦地にいくことになるところです。戦地に行くお金がたりないときに、次女のジョーが、自分の大切にしてきたきれいなかみの毛を売つて、お金にしてお母さんにわたした場面です。大切な家族のために自分の大切な物を売る行動に、とつても感動しました。「ジョーはとってもやさしくて家族思いだな」と思いました。

私はこの本を読んで家族の大切さや人の大切さをあらためてよく知ることができました。私は、この本をきっかけに妹と仲良くしようと思いました。

【第四学年）

準特選 プレスネット賞

カメをかつて いる人におすすめします。

「カメちゃんおいで、手の鳴るほうへ」



作／中村 陽吉
絵／アトリエ・モレリ
出版社／講談社

四年 林咲子

私は「カメちゃんおいで、手の鳴るほうへ」という本をしようかいします。

この本は、筆者が人にもらつたり、買つたりした力メに、なついてもらおうと努力する話です。私はこの本を、カメをかつて いる人にしようかいします。

私がこの本を手に取つたきっかけは、去年の六月にカメをかいはじめたからです。カメについて知りたいと思つて図書館に行つたとき、この本を見つけました。この本にはカメになついてもらうまでに筆者がしたことや、それにたいしてカメが取つた行動が書かれています。私はカメが筆者になついている場面を読んで、「私のかつて いる力メもこんなふうになつてくれるかな」とわくわくしました。そして、カメになついてもらえた筆者をとてもうらやましく思いました。

この本を読んで私は、カメになついてもらつために「カメの気持ちを考えることから始めよう」と思いました。そしてカメがなにを求めているのかを考えるよう心がけて います。

カメをかつて いる人は、この本を読んでカメになついてもらえるようにがんばつてください。



【第四学年】

準特選アスクライブライ賞

あまり自分で調べようとしない人におすすめします

「波乱に満ちておもしろい北里柴三郎」



作／石崎洋司
絵／小坂伊吹

出版社／岩崎書店



四年 森田 悠心

ぼくは「波乱に満ちておもしろい 北里柴三郎」という本をしようかいします。みなさん、「有名な人が言つているから必ずそうだ」「調べなくても答えは出でいる」など、すべきめつけてはいませんか?」この本は、そんな気持ちがある人におすすめします。

ぼくが、この本を手に取ったきっかけは、新千円札にのつていた人だつたからです。ぼくはこの人がなぜ千円札にのつたのかが気になり、本を読んでみました。そこには、北里柴三郎が失敗やトラブルがある中でも、自分の選んだ医学の道を極めていくことが書かれていました。読んでいると、「どうなるのかな?」と、次のページに進むのが楽しみになつてきました。中でも、北里柴三郎が有名な学者ができないと書つた、破傷風菌という菌のじゅんすい培養をする場面が心に残りました。この場面は、あぶない実験をしてまでも、じゅんすい培養を成功させようとする北里柴三郎を思いうかべると、「ぎもんに思うことは大切だな」と感じることができました。この場面を読んで、ぼくもぎもんに思つたことを、たくさん調べてみようと思いました。

北里柴三郎の医学を極める道はまだまだあります。気になる人はぜひ、この本を読んでみて下さい。

【第五学年】

特選 市教育委員会 教育長賞

勉強できる環境が当たり前だと思っている人におすすめします

「津田梅子」

作／中川千英子

絵／杉山エロ

出版社／GAKKEN



五年 西本 麻央

みなさんは、「津田梅子」という人を知っていますか。新しい五千円札の表面に描かれた人物です。この本は、梅子の生き方を知り、今の環境を当たり前と思っている人にぜひ読んでもらいたいです。梅子の考え方を知ることができると考えに変化があると思います。

約百五十年前、お父さんにアメリカへ行くことをすすめられた梅子は、日本人初の女子留学生としてアメリカにわたり、生がいで四回もアメリカへ行きました。その経験の中で、日本の女子教育はアメリカで見たものとはあまりにもちがうこと気に付いたことから、梅子は日本の女子教育や女性の地位向上のために力を尽くす、というお話です。

私はこの本を読んで、女性がまだ、自立して働くことや、学校に行つたり習い事をしたりすることも難しかった時代に、女性のために学校を造ろうと立ち上がった梅子はすごいと思いました。何度も体調をくずしても生徒のためにあきらめずに努力したことが、自分の目標を実現することにつながつていて、とても感動しました。どれだけ梅子が生徒のことを思つて頑張つていたのかを感じます。私は周りのことまで考えて行動を起こすことが難しいので、梅子のよう人に人のために行動できるようになりたいと思いました。

現在では、男女が平等に勉強したり、自立したりすることができます。これは当たり前ではなく、梅子のような昔の人の努力によるもので。どんな場所であつても教育は出来るという強い気持ちで行動した梅子のよう、この本を読んで勇気をもらい、自分の出来ることを見つけ、行動してみましょう。

【第五学年】

準特選 プレスネット賞

自分に自信がない人におすすめします

「成瀬は天下を取りに行く」

作／宮島未奈

出版社／新潮社



五年 吉盛 晴

みなさんは、自分のことが好きですか。私は自分のことが「あまり好きではないな」と思ったことがあります。なぜなら、できないことがたくさんあるからです。私は、この本を、自分に自信がない人におすすめします。

この本の主人公である成瀬は、歌を歌うのも、走るのもだれよりも上手にできるけど、みんなが考えないようなことを考える不思議な人です。そんな性格だから、他人を引き寄せず、小学五年生になると、女子から無視されるようになります。この本は、そんな成瀬が友達の島崎みゆきと一緒にまん才や色々なことにちよう戦していく物語です。

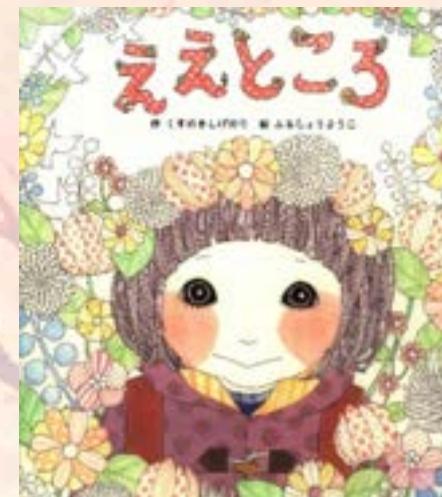
この本を読んで、印象に残ったところが一つあります。一つ目は「一百歳まで生きる。」などの成瀬の言葉です。このような成瀬の人とは変わった言葉を聞いて、「人と違っていてもいいんだな」と感じました。自分に自信をもつて、前向きに生きていきたいなと思いました。二つ目は、友達の島崎が成瀬のことを大切にしている姿です。島崎の優しさがすてきだなと思いました。「私もいつかそんな友達をつくりたいな」と思いました。そして、友達という宝物を大事にしていこうと思いました。

みなさんも一人一人が大切な人です。人と自分を比べていやになる時があつても、成瀬のよう前に前向きに生きてほしいです。私のように自分のことがあまり好きではない人もいると思います。しかし、そんなあなたにも必ず良いところがあります。そんな良いところを見つけてほしいです。もし、自分の良いところに自分で気付くことができたら、自分のことが少し好きになれると思います。そして自分のことを大切にできたら、友達も大切にしてあげてください。私は、みんながこの本を読んで、自信をもつて生きていくといいなと思っています。

【第5学年】

準特選 アスクライブライマー賞

不安や緊張を感じやすい人におすすめします
「ええところ」 作／くすのきしげのり
絵／ふるしょうよう



出版社／GAKKEN

五年 宇佐海結

みなさんは何かにつまずいたり、自分に自信がない時があつたりしますか。私はこの本を、不安や緊張を感じやすい人におすすめします。

この本は、登場人物のあいちゃんが小学生の時、自分の良いところを探すお話です。あいちゃんの友達のともちゃんが、「あいちゃんは、ええところあるよ。」と言います。あいちゃんが、良いところはどこか聞くと、ともちゃんは長いこと考えて、次の日に良いところを教えてくれます。そして、あいちゃんは自分の良いところは「思いやりがあること」だと気付くことができるので。

私はこの本を読んで、心が元気になりました。理由は、私の周りにもすてきな友達がいることに気付かせてもらえたからです。私は四年生の時に転校してきました。とてもドキドキしていたら、一人の友達が優しく声をかけてくれて、私の良いところを見つけ教えてくれました。私はその時、今まで気付かなかつた自分の良いところを初めて見つけることができました。そして私もその友達のように、人の良いところをもつと見つけていきたいと思いました。けれど、人の良いところは簡単には見つけられないものだと思います。この本は、人には色々な個性があり、一人一人違う良さがあることを教えてくれます。だから私は、人のそのままの姿から良いところを見つけるようにしています。

みなさんの良いところはどこですか。周りに自分の良いところを見つけてくれる人はいますか。みなさんもぜひ、友達や自分の良いところを見つけて、それを教え合って、自信を持って何事にも取り組んでいってほしいです。

【第六学年】

特選 市教育委員会 教育長賞

約束の大切さについて考えたい人におすすめします

「約束『無言館』への坂をのぼつて」 作／窪島誠一郎

絵／かせりょう

出版社／アリス館



六年 藪木翔大

皆さんは、「約束」と聞いて、どのようなことが思い浮かびますか？

この本は、主人公の窪島誠一郎さんが左手のない老画家と出会い、から、戦争で命を落とした画学生たちの存在を知り、その遺族を訪ねる旅を経て、戦争がもたらした悲しい現実と画学生たちが確かに生きていた「証」に出会い、戦没画学生の慰霊美術館「無言館」を建てるまでを描いた本です。

僕がこの本で一番感動した場面は、主人公の窪島さんの両親や出会った老画家、画学生やその遺族との【約束】を果たすところです。窪島さんは勉強やスポーツが苦手でしたが、絵を描くことが大好きでした。しかし、画家としてうまくいかず、夢をあきらめます。その後、窪島さんは店を開業し、成功します。そこで、貯めたお金を使って戦死した画学生たちの絵を集め始めました。そして、長野県上田市に「無言館」を建てます。その後、窪島さんは夢を見ました。亡くなった両親がたくさんほめ、心から喜んでくれた夢でした。この夢を見たのは、窪島さんが人と人の間で言われて行動に移す約束とは違った形の「約束」を守つたからだと僕は考えました。なぜ、窪島さんは美術館を建てたのでしょうか。窪島さんが果たした「約束」とはどこから生まれたのでしょうか。

それは、左手のない老画家と戦時中の画学生の作品との出会いから、戦争の残酷さとたくさんの人が亡くなつた現実と向き合い、その中で自分でできることはいかと考えた時に、美術館を建てるということが自分の使命だと思いました。戦争のせいで夢と命を奪われた戦没画学生の生きた証を美術館という形で残していくことが、戦争で亡くなつた人々のために自分が果たせる「約束」だと窪島さんは考えたのです。また、このような戦争を二度と起こしてはならないという決意を未来に伝えていくことも、亡くなつた人々に「約束」することにつながると考えて建てたと思います。

僕は、約束には二種類あると考えました。言われて行動に移す、相手から言られて守る「約束」、自分から相手のことを思い、考え、行動する「約束」があるのだと思いました。この物語で窪島さんが果たした「約束」には、たくさんの戦争に対する思いがあふれているなと心が震えました。

この本を読んで、自分の内側から生まれる「約束」について深く考えたことができました。僕たちが「人との約束」「自分の内側から生まれる約束」どちらの約束も大切にしながら生きていくことが、人と人をつなぎ、平和な世界を創り上げることにつながると思います。「約束」の意味について考えが深まる本なので、ぜひ読んでみてください。

【第六学年）

準特選 プレスネット賞

昔話が好きな人におすすめします

「**昔話法廷**」

作／オカモト國ヒロ

絵／伊野孝行

出版社／株式会社金の星社



六年 木之下 咲優

これからフシギな裁判が始まります。昔話の登場人物たちを現代の法律で裁く「**昔話法廷**」開廷！皆さんは、タイトルの「**昔話法廷**」を読んでどんな話だと思いますか？みんなが知っている昔話をどう裁判するのでしょうか。

私が一番面白いと思った、「**ヘンゼルとグレーテル**」裁判を紹介します。グリム童話の物語をもとに裁判は開かれます。裁かれる被告人は、魔女を殺して金貨を奪った罪に問われている兄妹のヘンゼルとグレーテルです。しかし、ヘンゼルとグレーテルは生活が貧しくなった両親から口減らしのために森に捨てられていたのでした。お腹を空かせた二人がしたことやその理由などいろいろな視点から裁判は進んでいきます。男女六人の裁判員が証人尋問と被告人尋問を聞いて、評議して判決を出していきますが……一つの事柄でも、それに対して裁判員それぞれの考え方が違います。どこの考え方にも共感することができます。判断がとても難しいと思いました。善悪を決められない現実世界の司法の難しさやいろいろな視点からの複雑さに、深く考えさせられました。

さて、どのような判決が出たのでしょうか？あなたなら、ヘンゼルとグレーテルが犯した罪をどのように考えますか？

ぜひ、この本を読んで考えてみてください

【第六学年】

準特選 アスクライベラリーオー賞
人生にとつての幸せを見つける人におすすめします

「ピアノ調律師」

作／M・B・コフスタイルン

出版社／現代企画室



六年 山田 悠生

皆さんに質問です。人生にとつての幸せって何だと思いま
すか？自分もこの「幸せ」にはとても頭を悩ませました。お
金持ちになること？いい仕事に就くこと？賢い大学に行くこ
と？人生にはたくさんのことがあると思いますが、「自分の
人生にとつての幸せ」を見つける人に「ピアノ調律師」を
紹介します。

この本は、ピアノ調律の仕事に情熱を傾ける少女が祖父の
後継者として一人前に成長していく過程を描いた物語です。
この本の中で一番心に刺さった部分は、主人公の祖父のル
ーベンの「あの子にはこれより、もう少し良い仕事に就いて
ほしかったものです」という発言に對して、リップマンが、
「ルーベン、人生で自分で自分の好きなことを仕事にできる以上に
幸せなことはあるかい？」と返したところです。この発言で
は、自分の就く仕事が良いか悪いかなどは関係なく、自分の
好きなこと、自分のなりたいものになる、それ以上の幸せが
あるのかと考えさせられる部分です。確かにいい仕事に就く
ことはいいことではありますが、それが「自分の人生にとつ
ての幸せ」になるかということです。

そこで自分は自分のやりたいこと、なりたいもの、挑戦し
たいものに、何にも惑わされずに自分の人生を好きなように
生きていく。それが「自分の人生にとつての幸せ」だと思いま
す。きっとこの本はあなたが自分の「幸せ」を見つける道
しるべとなることでしょう。そしてぜひ、この本を読む機會
があつたら、この本を読む前に考えた「自分の人生にとつ
ての幸せ」と、この本を読んだ後に考えた「自分の人生にとつ
ての幸せ」を比べてみてください。